



[評者]

八重樫 牧人

千葉西総合病院内科部長

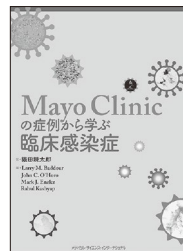
Mayo Clinic の症例から学ぶ臨床感染症

織田 錬太郎 訳

●B5変 頁208 2024年2月

定価：4,620円(本体4,200円+税10%)

[ISBN978-4-8157-3093-2] MEDSi 刊



凄い本が出た！ 日本に現存する感染症専門医でこれだけ数多くの稀な症例を経験した専門医はいないだろう(たぶん)。

病気には頻度が高い病気もあれば、稀な病気もある。教科書で病名をみたことがあるだけでは「どのような患者さんでその病気を疑って検査するか？」を明確に判断するには不十分だ。一方で、その稀な病気の典型的な臨床経過・診断経過、つまり illness script(病気の台本)を学べば、どのような状況で稀な病気を疑い、検査をするかがわかりやすい。それを世界トップの医療機関である Mayo Clinic の症例から学べるのがこの本だ。このプロセスがあれば、稀な症例を診断して治療し患者さんの健康と幸せにつながる可能性が高くなる。

感染症の分野は非常に幅広いが、度肝を抜くほどこの本の54症例は幅広い。各症例提示は、症例カンファの大当たりの回に匹敵する質で度肝を抜く。さすが Mayo。加えて米国だけではなく、米国外への渡航から帰国した症例、移民してきた症例も多いので、これを読んだだけで世界旅行をした気にもなれるし、幅広い知識が磨かれる。米国感染症専門医から直接学び、東京ベイ・浦安市川医療センターで大活躍した、東京都立多摩総合医療センターの織田先生が単独で訳しているので、訳にもブレがなく非常に読みやすい。適宜、織田先生の訳者コメントがあるのもありがたい。

この本には感染症専門医でもお腹いっぱいになるほどトピックが満載されているので、ネタバレをしてもこの本の良さはまったく損なわれないので多少紹介すると：

- 症例8：Q熱：「それだけで感染するのか…と衝撃を受けました」織田先生の訳注に激しく同意！
- 症例23：HIV陰性の風土病型 Kaposi 肉腫：確かに、HHV-8 感染症ですよ…
- 症例28：胆嚢炎と間違われて胆嚢摘出された野兎病。日本での報告も織田先生が記載してくれています。
- 症例39：ソマリア移民の女性の発熱→ブルセラ症：ラクダのミルクが手がかり、なるほど！
- 症例54：慢性多関節炎→最終診断 Whipple 病：よく診断できましたね…。等々、稀な症例に全振りした貴重な症例が盛り沢山だ。

症例提示にはカラー写真もついていて、記憶に残りやすい。さらに症例と関連した69問の問題があり、難しい本を読んでもすぐに忘れる結果とならず、知識の反復で定着につながる。

世界のトップの専門医から学ぶ楽しさを大いに含んでいるのがこの本である。専門医の知識の広さや懐の深さを実感できる。マニアックで何が悪い！これは専門医としてより多くの患者さんの診断・治療に貢献できるようになるための知識であり、このマニアックさは専門医が専門医である所以だと思える。主な読者対象は感染症科を志望する医師だが、それ以外の医師にとっても純粋に読み物として面白い。

感染症診療のスキルを上げたい方は、ぜひこの本で症例を通じた至福の学びを体感して頂きたい。